

## 補足取扱説明書

本書は、BALシリーズ(BAL-11/BAL-12/BAL-13/BAL-14)共通の補足取扱説明書になります。本書では、機種ごとに装備が異なる項目には、該当機種を記載しております。該当機種を確認いただき、ご自分の車いすに関係する項目をお読みください。ご使用前に本書と別冊「標準車いす取扱説明書」を必ずお読みになり、十分に理解した上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。使用者の身体状況・環境の変化に合わせて、必要なときにお読みください。

### 使用目的・特徴

本製品は手動式車いすで、一人乗り用です。これに搭乗しての移動と、休息を目的としています。

本製品は、使用者がハンドリムを操作して駆動する手動式の自走用車いすで、一人乗り用です。(BAL-12、BAL-14の場合、介助者が操作する介助用車いすです。)日常生活用に設計されており、特殊な使用目的(スポーツ・入浴など)のものではありません。

### はじめにご確認ください

本製品購入後に、はじめて梱包箱をあけるとときに、下記のものが入っていることを確認してください。

- ・車いす本体
- ・取扱説明書(本書)、標準車いす取扱説明書 各1ケ
- ・工具(スパナ2ケ 六角レンチ 5mm、4mm、3mm 各1ケ)
- ・保証書

### ⚠警告

該当機種：BAL-11 / BAL-12

使用する前に、両側の背折れジョイントが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、使用者が後方に転倒する恐れがあります。

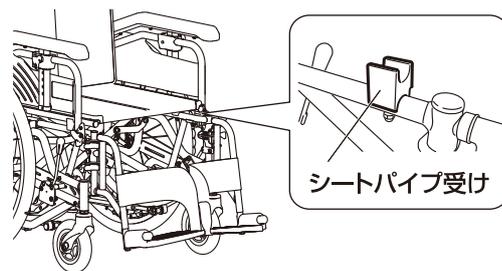
### ⚠注意

該当機種：BAL-11 / BAL-12

車いすを開いた際、シートパイプ受けに、シートパイプがしっかりとハマっていることを確認してください。

シートパイプ受けにシートパイプをはめ込むことで、ガタつきをなくす構造になっています。

※しっかりとハマっていない場合は、シートパイプの中央付近を押してはめてください。押す時は、シートパイプの先端を押さないでください。フレームが変形する恐れがあります。



### ブレーキのかけかた

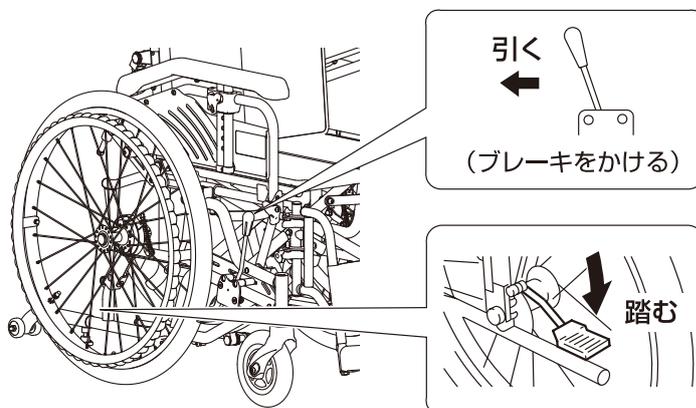
#### ⚠警告

- ・乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていると車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。
- ・乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。
- ・車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、駐車用ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。
- ・タイヤの空気圧の低下、摩耗に注意してください。タイヤの空気圧が低下したり摩耗すると、駐車用ブレーキが効かなくなる場合があります。空気の補充をしてもブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。
- ・走行中に駐車用ブレーキを使用しないでください。転倒などの事故につながる恐れがあります。

## ● 駐車用ブレーキのかけかた

介助者もしくは使用者が、左右の駐車用ブレーキレバーを手前に引いてかけます。

ブレーキレバーを前方に戻すと解除されます。



## ● 足踏みブレーキの使いかた (BAL-12のみ)

介助者が、左右の足踏みブレーキを踏み込みます。

(駐車用ブレーキがかかります。)

足踏みブレーキを足で持ち上げて元の位置に戻すと解除されます。

## ● 制動用ブレーキのかけかた ブレーキ

### ⚠ 危険

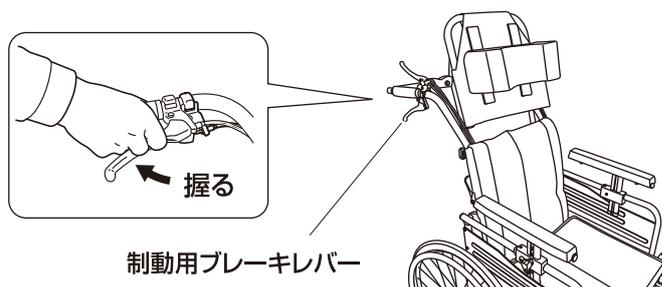
- ・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり下りてください。また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。

### ⚠ 警告

ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。  
転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

介助者が、左右の手押しハンドル下にある  マークがついた黒色の制動用ブレーキレバーを左右同時に握ってかけます。

ブレーキレバーを放すと解除されます。



制動用ブレーキレバー

## アームサポートフレームの跳ね上げ (BAL-11/BAL-12)、取り外し取り付け (BAL-13/BAL-14)

アームサポートフレームを後方へ跳ね上げる (BAL-11/BAL-12) もしくは取り外す (BAL-13/BAL-14) ことで、ベッドと車いすの間の移乗などがスムーズに行えます。

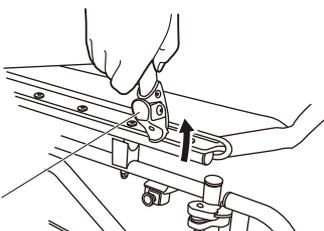
### ⚠ 注意

- ・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・アームサポートフレームを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下などの事故やけがにつながるおそれがあります。
- ・アームサポートを跳ね上げて乗り降りする際は、アームサポートを最後まで跳ね上げたことを確認してから行ってください。アームサポートが身体、衣服に引っかかり、けがををする恐れがあります。(BAL-11、BAL-12)

## ● 跳ね上げかた (BAL-11/BAL-12)

ロックレバーの上側を押しながら、アームサポートフレームを持ち上げて後方へ跳ね上げます。

ロックレバー



\* アームサポートフレームを上げた状態で、アームサポートフレームに力を加えないでください。フレームが変形し故障の原因となります。

\* ティルトした状態で跳ね上げると駐車ブレーキが解除される場合があります。(BAL-12のみ)

## ● 戻しかた (BAL-11/BAL-12)

### ⚠ 注意

アームサポートフレームを下ろすときは、身体をはさまないように注意してください。

アームサポートフレームを下ろし、完全にロックされたことを確認します。

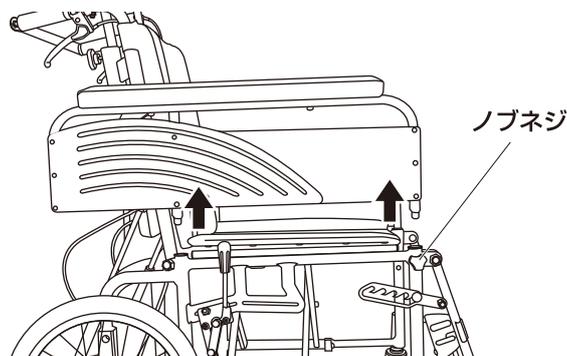
\*アームサポートフレームを下ろした後、アームサポートフレームが完全にロックされていることを確認してください。

## ● 取り外しかた (BAL-13/BAL-14)

サイドフレーム前方にあるノブネジをゆるめ、アームサポートフレームを垂直に持ち上げ取り外します。

## ● 取り付けかた (BAL-13/BAL-14)

取り付けは逆の手順になります。



ノブネジ

### ⚠ 警告

アームサポートを跳ね上げもしくは取り外した状態で走行しないでください。使用者が車いすから落ちて、事故やけがにつながる恐れがあります。

## アームサポートフレームの高さ調節

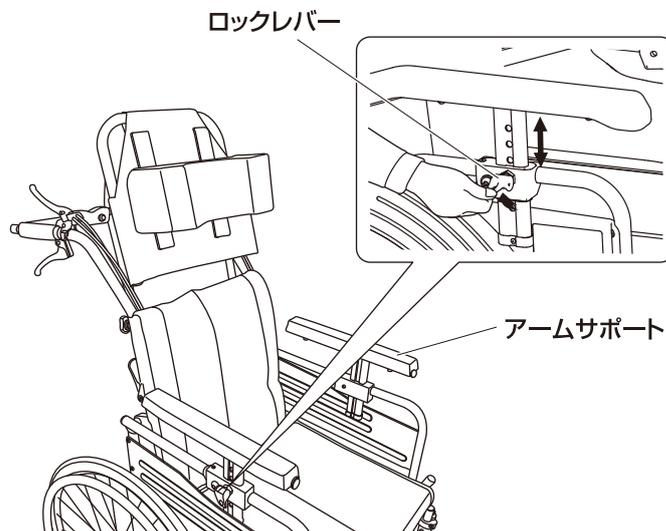
該当機種： BAL-11 / BAL-12

**△警告** 各部の調節は必ず駐車用ブレーキをかけてから、平坦な場所で行ってください。

**△注意**

- ・高さ調節をした後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ・調節中にアームサポートが下がり、アームサポートフレームとアームサポートの間に指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ・アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

- 1** 駐車用ブレーキのレバーを引くか、または足踏みブレーキ (BAL-12のみ) を踏んで、両輪に駐車ブレーキをかけます。
- 2** ロックレバーを引いてロックを解除します。
- 3** アームサポートの高さを調節し、希望の高さでロックレバーを押し下げます。
- 4** ロックレバーがいっぱいまで下がり、アームサポートが確実に固定されていることを確認します。



- \* 反対側も同様に調節してください。
- \* 調節後、アームサポートがしっかり固定されていることを確認してください。

## フット・レッグサポートの開閉・取り外し

該当機種： BAL-11 / BAL-12

フット・レッグサポートをワンタッチで開閉することができます。車いすへの乗り降りの際、フット・レッグサポートが脚にぶつかることなくスムーズに移乗することができます。

**△警告**

- ・フット・レッグサポートの開閉・取り外し・取り付けは、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・フット・レッグサポートを持って車いすを持ち上げないでください。部品が外れて使用者が転倒、落下などの事故やけがにつながる恐れがあります。

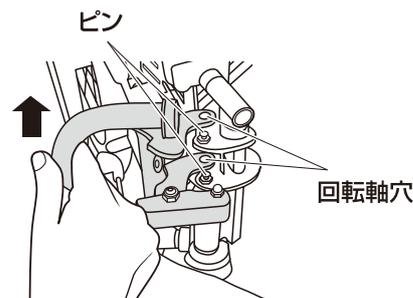
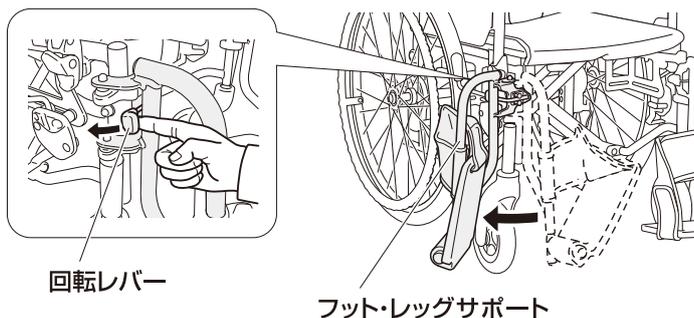
- **開きかた**  
回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。
- **閉じかた**

**△注意**

フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。閉じた後、フット・レッグサポートが完全にロックされたことを確認します。

- **取り外しかた**  
フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。
- **取り付けかた**  
車体フレーム側の2つのピンにフット・レッグサポート側の回転軸穴 (2箇所) を合わせてはめ込みます。  
\* フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。



**△警告**

- ・フット・レッグサポートを開いた状態で走行しないでください。事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・開閉時、フック部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。けがをする恐れがあります。
- ・乗り降りの際に、スイングアウト部に身体や衣服が引っ掛からないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

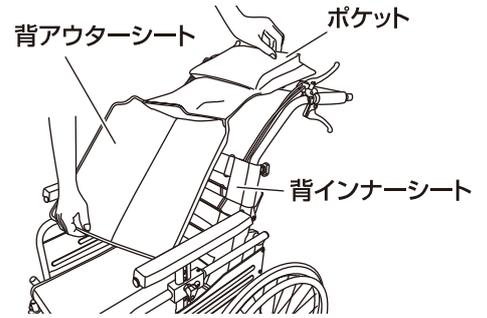
## シートの取り付け/取り外し

### △注意

- ・作業は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・使用者が乗車していない状態で作業してください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れがついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。

### ● 背シートの取り付けかた

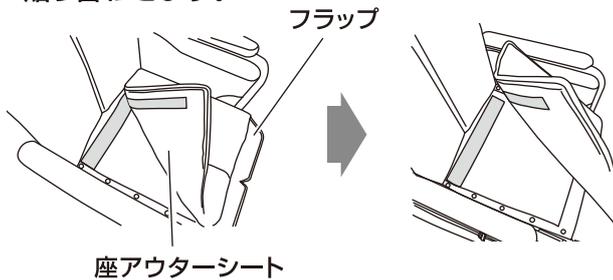
背アウターシートのポケット部を後ろにし、折り目部分が上にくるように車いす本体にあわせませす。  
背アウターシートと背インナーシートの面ファスナーを貼り合わせませす。



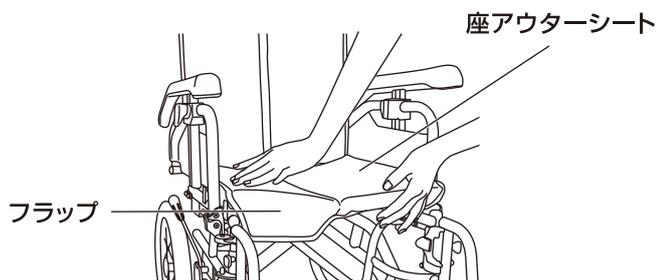
### ● 座アウターシートの取り付けかた

(BAL-11、BAL-12のみ)

- 1 座アウターシートのフラップを前側にし、車いす本体の座インナーシート表面の面ファスナーと貼り合わせませす。



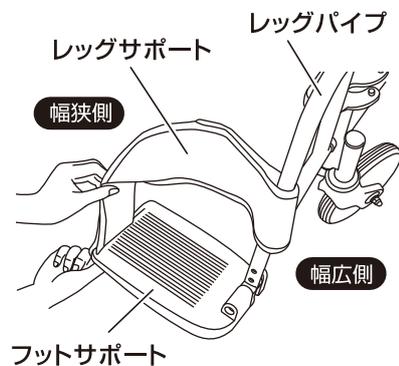
- 2 フラップ部を折り曲げ座インナーシート裏面の面ファスナーと貼り合わせませす。



### ● レッグサポートの取り付けかた

(BAL-11、BAL-12のみ)

- 1 レッグサポートの幅広側の端を車いす本体のレッグパイプに巻きつけ、面ファスナーを貼り合わせませす。
- 2 レッグサポートの幅狭側の端をフットサポート先端の前後どちらかの穴に差し込みませす。



- 3 穴に通したレッグサポートの端を折り返して面ファスナーを貼り合わせませす。
- 4 反対側も同様の作業を行います。

### ● 取り外しかた

取り外しは、逆の手順になります。

## ヘッドサポートの取り付け・取り外しと調節

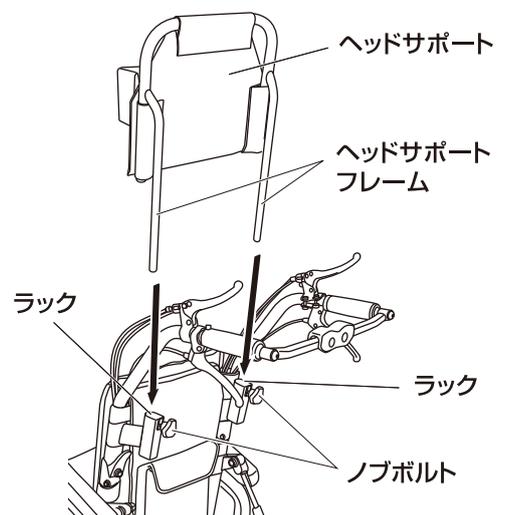
### ● 取り付けかた

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引くか、または足踏みブレーキ (BAL-12のみ) を踏んで、両輪に駐車ブレーキをかけませす。
- 2 左右のラックにヘッドサポートフレームを差し込みませす。  
\*ノブボルトに当たって入らない場合は、ノブボルトをゆるめてください。
- 3 ヘッドサポートの高さを使用者の頭の位置に合わせ、左右のノブボルトを締め付けて固定させませす。
- 4 表面の面ファスナーにヘッドサポートクッションを取り付けませす。

\*ヘッドサポートとヘッドサポートフレームにガタつきがなく、しっかりと固定されていることを確認してください。

### ● 取り外しかた

取り付けと逆の要領でノブボルトをゆるめ、ヘッドサポートフレームを上を持ち上げてラックから取り外させませす。



## バックサポートの張り具合調節

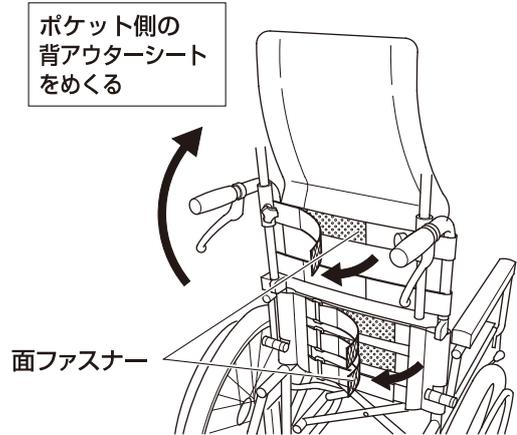
該当機種：BAL-11/BAL-12

### △注意

- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等がついた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。
- ・面ファスナーの張り具合を過度に強くしますと、十分に車いすが開かなくなりフレームの変型の原因になります。

\*バックサポートの張り具合を随時チェックし、必要に応じて調節してください。

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引くか、または足踏みブレーキ (BAL-12のみ) を踏んで、両輪に駐車ブレーキをかけます。
- 2 ポケット側の背アウターシートをめくり上げます。
- 3 面ファスナーをはがし、バックサポートの張り具合を調節した後、もう一度面ファスナーをしっかりと貼り合わせます。  
\* 手でバックサポートを押し、確実に固定されていて、張り具合が適切であることを確認してください。
- 4 ポケット側の背アウターシートを元に戻します。



\*過度の調節(ゆるめすぎ、締めすぎ)はかえって姿勢を崩すこととなりますので、十分注意して行ってください。

## 転倒防止装置の取り付け・取り外し

該当機種：BAL-11/BAL-12/BAL-13/BAL-14

### △注意

操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください

#### ●取り付けかた

転倒防止装置(2本)を、図の向きにしてティッピングレバーに差し込み、ロックボタンが穴から出ていることを確認してください。

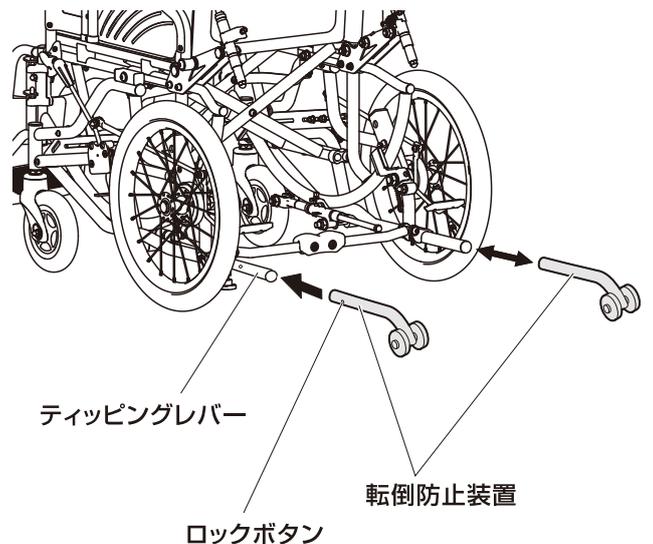
\*転倒防止装置が一時的にじゃまになるときは、取り外すことができます。通常は、転倒防止装置を図のようにセットした状態でご使用ください。

#### ●取り外しかた

ロックボタンを押した状態で、転倒防止装置を引き抜いてください。

#### ●転倒防止装置の向きの変更

ロックボタンを押した状態で、転倒防止装置を横に180°回転させてください。ロックボタンが穴から出ていることを確認してください。



## フット・レッグサポートの上げ下げ(エレベーター機能)

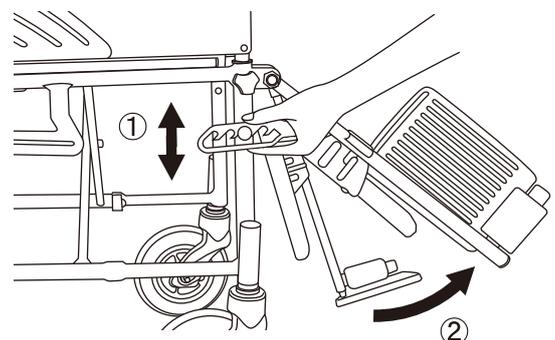
該当機種：BAL-13/BAL-14

フット・レッグサポートの角度をお好みに合わせて変えることができます。脚を持ち上げたいときや、ひざ関節の曲がる範囲が限られている場合などに便利です。

#### ●角度の変えかた

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引いて、両輪に駐車用ブレーキをかけます。
- 2 本体フレームとフット・レッグサポートを接続しているプレートを軽く上げ下げし、使用者に合わせた角度に調節します。

\*フット・レッグサポートがしっかり固定されていることを確認してください。

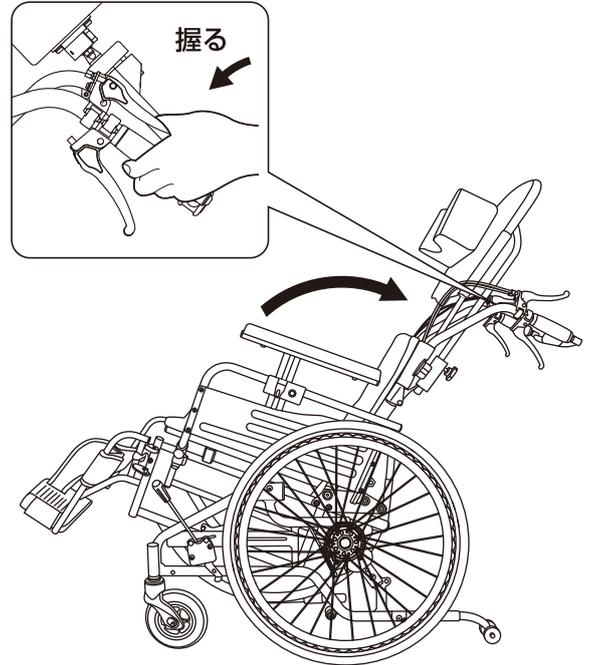


## △注意

- ・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・介助者は、操作をする前に「倒します」「起こします」と声をかけてください。また、操作するときは、使用者の体重が手押しハンドルに掛かりますので、しっかり支えてください。
- ・ティルト操作は、使用者の手や腕がアームサポートよりも外に出ていないことを十分に確認してから行ってください。使用者の手や腕がアームサポートよりも外に出ていると、手や腕をはさみけがをする恐れがあります。

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引くか、または足踏みブレーキ(BAL-12のみ)を踏んで、両輪に駐車ブレーキをかけます。
- 2 左側手押しハンドルグリップ上のレバーを握ります。  
(マークが付いたオレンジ色のグリップです。) シートの角度が0~20度の範囲で調節可能になります。
- 3 お好みの角度が決まったら、その位置でレバーを放します。シートの角度が固定されます。
- 4 シートとバックサポートにガタつきがないことを確認します。

- \*操作はゆっくり行ってください。レバーの握りこみが不十分だとロックが解除されず、操作ができませんのでご注意ください。
- \*自走型の場合、ティルト・リクライニング角度によっては駆動輪がアームサポート上面より飛び出す場合があります。その場合は車輪が体に接触しないよう、アームサポートの高さを調節してください。
- \*使用者の体格や状態、シートおよびバックサポートの角度によっては後方への安定性が低下する場合があります。その場合はシート、バックサポート角度を戻し、車いすを安定させた状態でご使用ください。



# バックサポートの角度調節(リクライニング機能)

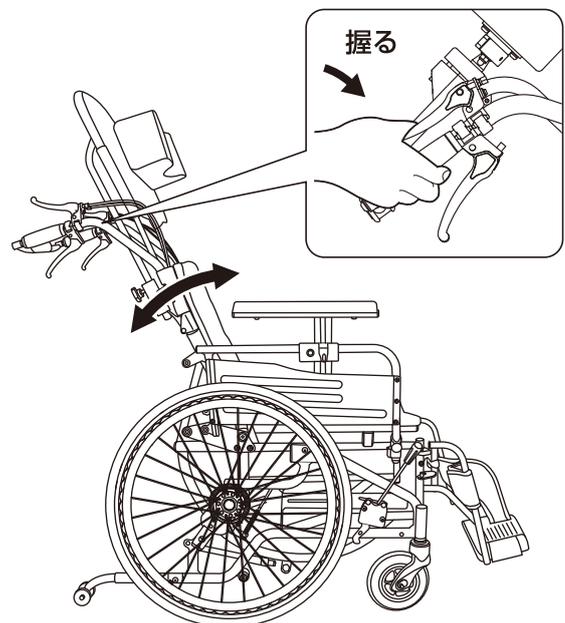


## △注意

- ・操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。
- ・介助者は、操作をする前に「倒します」「起こします」と声をかけてください。また、操作するときは、使用者の体重が手押しハンドルに掛かりますので、しっかり支えてください。
- ・リクライニング操作は、使用者の手や腕がアームサポートよりも外に出ていないことを十分に確認してから行ってください。使用者の手や腕がアームサポートよりも外に出ていると、手や腕をはさみけがをする恐れがあります。

- 1 駐車用ブレーキのレバーを引くか、または足踏みブレーキ(BAL-12のみ)を踏んで、両輪に駐車ブレーキをかけます。
- 2 右側手押しハンドルグリップ上のレバーを握ります。  
(マークが付いた緑色のグリップです。) バックサポートの角度が90~115度(BAL-13、BAL-14は95~175度)の範囲で調節可能になります。
- 3 お好みの角度が決まったら、その位置でレバーを放します。バックサポートの角度が固定されます。
- 4 シートとバックサポートにガタつきがないことを確認します。

- \*操作はゆっくり行ってください。レバーの握りこみが不十分だとロックが解除されず、操作ができませんのでご注意ください。
- \*自走型の場合、ティルト・リクライニング角度によっては車輪がアームサポート上面より飛び出す場合があります。その場合は車輪が体に接触しないよう、アームサポートの高さを調節してください。
- \*使用者の体格や状態、シートおよびバックサポートの角度によっては後方への安定性が低下する場合があります。その場合はシート、バックサポート角度を戻し、車いすを安定させた状態でご使用ください。



## 困った時には

車いすをご使用されていて『故障かな』と思われましたら、販売店へ連絡するまえに下記項目を確認してください。

症状	確認点	対処
車いすがまっすぐ走らない。 斜行する。	路面が傾斜していませんか。 車いすは、傾斜面では低い方へ前輪が流れる特性があります。	低い方へ曲がらないように車いすを操作してください。 《自走の場合》 傾斜面の低い側に当たる駆動輪をより強く回してください。 《介助者が押す場合》 傾斜面の低い側に当たる手押しハンドルに、より力を入れて押してください。
	キャストの回転に左右差がありませんか。 キャスト軸の回転がスムーズですか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	キャスト、駆動輪(主輪)の計4輪がきちんと接地していますか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
駐車用ブレーキが効かない。	駆動輪(主輪)のタイヤは摩耗していませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	駐車用ブレーキのタイヤ押えが駆動輪(主輪)にきちんと当たっていますか。 駐車用ブレーキがガタついていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
制動用ブレーキ(介助ブレーキ)が効かない。	ブレーキワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
異音がする。	本体や車輪とオプション品、アクセサリなどの干渉していませんか。	車いすに取り付けて使用するカバンなどは車輪など回転する箇所と干渉しないようにしてご使用ください。
	可動部分の錆び・摩耗・汚れ・油きれなどによっておこる摩擦音がしていますか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	フレームに歪みが発生していませんか。	
	ボルト類の緩み等がおきていませんか。	
リクライニング(ティルト)の動きが悪い。	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	インナーワイヤーがスムーズに動くように、ワイヤーチューブの取廻しを修正してください。 改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。

## アフターサービス

- ・ 万一故障の場合は、お買い上げの販売店、または弊社へこの商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上お申しつけください。
- ・ 保証期間内の場合は、保証書の提示が必要となります。

## 保証

- ・ 保証内容につきましては、同封の保証書をご覧ください。
- ・ 保証期間終了後の修理については、お買い上げの販売店、または弊社へお申しつけください。  
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

## 仕様・寸法

### ● 仕様

	BAL-11	BAL-12	BAL-13	BAL-14
フレーム材質	アルミ			
シート材質	ナイロン			
グリップ	エンボスグリップ			
バックサポート	ワンタッチソフトシート			
背折れ	あり レバー式		なし	
アームサポート	ウレタン		木製	
サイドガード	樹脂			
足台可動	スイングアウト		固定	
フットサポート	ポスト式			
キャスト	6" ソリッドキャスト			
タイヤ	22PU ハイポリマー タイヤ	16PU ハイポリマー タイヤ	22PU ハイポリマー タイヤ	16PU ハイポリマー タイヤ
介助ブレーキ	あり			
ハンドリム	プラスチックハンドリム	なし	プラスチックハンドリム	なし
駐車用ブレーキ	KTブレーキ標準大	KTブレーキ標準大 足踏みブレーキ	BALブレーキ	

### ● 寸法

単位：mm

	BAL-11	BAL-12	BAL-13	BAL-14
駆動輪(主輪)	22 インチ	16 インチ	22 インチ	16 インチ
キャスト径	6 インチ	6 インチ	6 インチ	6 インチ
前座高	435	435	470	470
後座高	435	435	445	445
シート奥行	400	400	400	400
シート幅	400	400	400	400
バックサポート高※ <sup>1</sup>	800(440)	800(440)	800(440)	800(440)
レッグパイプ長	360~	360~	400~	400~
アームサポート高	260~340	260~340	230	230
全高※ <sup>2</sup>	1250	1250	1230~1280	1230~1280
全幅	650	590	650	590
全長	1100	1100	1120	1090
折りたたみ全高	735	735	1000	1000
折りたたみ全幅※ <sup>3</sup>	435	375	380	340
折りたたみ全長※ <sup>4</sup>	920(1160)	920(1160)	1100	1025
リクライニング角度	95~115°	95~115°	95~175°	95~175°
重量	24.4kg	23.5kg	20.6kg	20.1kg

※1 カッコ内はヘッドサポート無し

※2 ヘッドサポートを含めた寸法です。

※3 折りたたみ寸法の全幅については、ワンタッチソフトシート(背・座)を外した時のサイズです。

※4 ( )内はフット・レッグサポートを取付けたままのサイズです。

製造元

Wheel Chair  
Miki

株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

1310-001